

ちよぼる

No.29

みんなで楽しく気軽にちよとずつのボランティア



ボラ連交流スペース



ボランティア表彰



ボランティアセンター



めだかの楽校



矢車草



ナレーションサークル風



たんぼぼの会



もちのきの会



ちやお²



たけのこクラブ

ドリームまつりでがんばりました!

こころ豊かに暮らす!



目からウロコ!

よか余暇講座

ボランティア入門講座を開催して

ボランティアセンター運営委員 宮崎 律子

「こころ豊かな暮らし」をキーワードにボランティアについて、10月4日を皮切りに、多数の参加者で4回講座を開催しました。

■講師：九州大学大学院客員准教授 加留部 貴行 氏
■平成24年10月4日～11月1日 ■参加者：35名



第2回目の講座は「知っている?町のボランティア」というテーマで、町内で活動しているボランティアさんを画像で紹介しました。その後、参加者が興味を持ったボランティアさんと交流し、わきあいあいとした中にボランティアの話で大いに盛り上がりました。



第1回目は講師の加留部先生の豊かな知識と経験が受講生の心をぐっとつかみ、時間があっという間に過ぎてゆき、「ボランティアとは、自らすすんでするもの」という事を学びました。

ボランティア見学に参加して



配食サービス青い鳥（大刀洗校区）
M. Yさん（下高橋）

退職して時間的余裕ができた。自分のできる範囲で何か喜んでいただくという気持ちで参加した。青い鳥のみなさんが丁寧な対応をしてくれるので活動していると思っている。



子育て支援ボランティアちゃお²
K. Tさん（南本郷）

始めは子育て支援センターのことがよくわかりませんでした。体験するうちにだんだんわかってきました。私にできることからお手伝いしたいと思っています。



配食サービス青い鳥（本郷校区）
S. Sさん（西本郷）

広報を見て友達づくりのチャンスをもたらしたと思って参加しました。みんなと一緒につくるお弁当づくりはとても楽しいです。私で役にたてることをしていきたいと思っています。



第3回目講座では、心を動かされたボランティア活動を見学し、見学することによって今回の講座の目的をよく理解していただけたと思います。

第4回は、「これからの“自分流暮らし方”を考える」というテーマでまとめの講座となりました。

私自身は、施設ボランティアの活動を通して、楽しみに待ってくれる人に応えたいという気持ちが自然にわいてきます。またそれが私自身の楽しみとなり、元気の源になっていきます。

ボランティアセンターでは今後もボランティア見学を受け付けますので、あなたも一度見学されてはどうですか!!

ほっこり井戸端サロン



第2回

9月29日(土)

テーマ

「耳の不自由な生活について」

第2回「ほっこり井戸端サロン」が9月29日(土)ぬくもりの館で開催されました。

ゲストに平田良隆、すま子さんご夫婦、そして手話通訳士の野村久美子さんをお迎えし、「耳の不自由な方の生活について」お話しをしていただきました。

聞こえないことが、普段の生活をするのに、いかに大変か、

不自由かと言う事のお話でしたが、平田さんがユーモアたっぷりにお話しされるので参加された方達も、思わず笑いが出していました。途中、簡単な手話を教えていただき、最後はみなさんと手話でお礼を言いました。

手話通訳士の野村さんと、平田さんご夫婦には何か目に見えない絆があるのでしょうか。ご夫婦も安心してお話し下さり、楽しいひとときになりました。

第3回

11月24日(土)

テーマ

「障がいを
持って生きる」

第3回「ほっこり井戸端サロン」は11月24日(土)開催されました。

ゲストは「語ろう会」会長の森蘭子さん。「障がいを持って生きる」というテーマでお話していただき、気負いのない彼女の語り口調から、今までの苦勞を感じ取ることが出来ました。



「障がいは私にとって天からの贈り物」という言葉に感銘を受けました。

毎回、感動をいっぱいもらえる「ほっこり井戸端サロン」!! これからも、たくさんの方々に参加してもらって、みんなでほっこりしたいものです。

これからの予定

1月19日(土) 「誰もが安心して暮らせる町って？」

場所 ぬくもりの館 午後1時30分より

大刀洗中学校朗読会に参加して

ナレーションサークル風 高松 裕良

11月27日「食といのち」というテーマで、大刀洗中学校朗読会に参加した。当日は、期末テストの最中にも係らず、熱心に聴いて貰った。今回の朗読は、9月から練習が始まり、私なりに努力して完成させたものだった。

私は、5年前からこのサークルに入会し練習しているが、単調な日常生活の中で、人様の前で朗読を披露するという、或る殊の緊張感のある生活は、心地好いものとなっている。また、朗読作品の内容が良く、人生勉強ともなることがある。良い作品の言葉を実際に音声にして出すことで、脳から心に響き合い、健康にも良いと思う。

その上、私たちの朗読を聴いてくれた人が、少しでも共感して頂けたならば、それは素晴らしいことだ。そして喜ばしいことだ。

今の社会は情報が増え、通信手段も多様化しており、心からの対話が少なくなりつつあるように思う。文字や言葉を、何時でも身近なものとして使い、大切にしたいものである。



私のボランティア日記



私の小さなボランティア

吉川映子

私は、老人ホームフレグランス大刀洗で、絵手紙を教え始めて4年が過ぎました。月2回、毎回10人程の方と一緒に楽しんでいます。絵手紙は「へたでいい」・「へたがいい」がモットーです。自分らしさをぶつけて、うまく描こうとせず、率直さが大切です。

描きたい物をよく見て、手で触れて、感じたとおりに描く、その気持ちがあれば誰にでも描けます。

ここでは、描きたいと思うようなモチーフを持参しています。

美しい花・美味しい果物・野菜・木の葉など、季節に合わせて準備します。

描く前には筆で線の練習をし、手を十分にならしてから最後に好きなモチーフを選んで描きます。一人で自信のない方は、手を添えて一緒に描くので喜んでくれます。出来上がった作品は展示して、スタッフと一緒に見ます。

「うまくできたねー」「すごかー!」とほめられ、皆さんの達成した喜びの笑顔がとても素敵です。

またお元気で、この楽しいひとときが過ごせますように、私もあの笑顔を忘れずに頑張りたいと思います。



■ボランティア見学してみませんか?

活動の様子をちょっと見てみたい方、ボランティアセンターがおつなぎします。個人でもグループでもお気軽にどうぞ。

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

大刀洗町ボランティアセンター

TEL 77-4877 FAX 77-6220

来年も大刀洗町のボランティアを盛り上げていきます。よろしくお願いします!

編集スタッフ



スマイル

代表 福村 宮生

福村 千代美

松本 哲雄

矢ヶ部 美夕紀